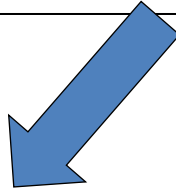
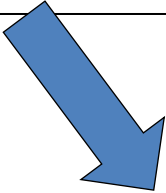


職員による自己評価

- A環境面
  - ・2 部屋を学年齢に合わせた配置により、それぞれのニーズに合った活動が出来ている
  - ・建物の構造上、完全にバリアフリー化はできない
- B 児童への支援内容
  - ・支援開始前のミーティングでは児童の近々の様子を共有しその時々に適した支援をするよう心掛けている
  - ・長期休みの活動プログラムは固定化されないよう工夫している
- C 関係機関との連携
  - ・連絡協議会に参加し役所や他の事業所と情報交換をしている
  - ・学校との情報共有をお迎え時にしている
- D 保護者への説明責任・信頼関係
  - ・面談や連絡帳を通じて概ね理解していただいている
  - ・保護者会は行っていない
- E 非常対応
  - ・年に 2 回避難訓練を行っている

保護者による評価

- A環境面
  - ・実際の活動時間を見たことはないが 2 教室にわかれているので狭さは感じられない
  - ・職員の専門性はわからない
- B 児童への支援内容
  - ・長期休みのプログラムが楽しみ
  - ・家庭では出来ない細かい作業の取り組みが充実している
- C 事業所からの情報発信
  - ・会報やホームページ等での情報はないが送迎時や面談時に直接伝えてもらっているので十分満足
  - ・保護者会の開催はないので保護者同士の連携はされていないが特に必要性を感じない
- D 非常対応
  - ・避難訓練は行っているようだが非常時マニュアルの説明は受けていない



事業所内での分析

- ・長期休みの活動プログラムは固定化しないように工夫している
- ・1 対 1 の個別対応をしてゆったりと手厚い支援ができています
- ・情報交換は連絡帳または送迎時に概ね出来ている
- ・小学生と中高生の部屋を分けたことにより、それぞれのニーズに合ったプログラムを行うことができるようになった
- ・非常時のマニュアルを整備する
- ・年 2 回の避難訓練は今後も実施する

分析・検討してみても…

### 事業所の強み

教室がわかれているので必要に応じて使い分けができ、ニーズに合った支援ができる

専門性のあるスタッフによる学習プログラムの導入

長期休みの活動プログラムが充実している

ベテランのスタッフが多数おり、個別対応に適した連携が取れている

### 事業所の改善点

職員が行き届かないスペースでの職員の連携

非常時等のマニュアルの周知徹底と情報発信の見直し

HP 等での情報発信

### 事業所の改善への取り組み

- ・ ホームページを充実させて活動内容を定期的に発信できるようにする
- ・ 緊急時の連絡を迅速に行う
- ・ 非常時等のマニュアルを策定し保護者に周知・説明をする

### ～自己評価を行っての事業所としての感想など～

コロナ禍に於いて日々の活動に制限がある中、通所を楽しみにしている利用者さまに対しより一層充実した時間を過ごしていただけるよう事業所の強みを磨き、また改善すべき事項を速やかに改善し、安全で安心して通所できる場であるよう努めて参ります。